

令和6年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年8月9日

上場会社名 フクビ化学工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7871 URL https://www.fukuvi.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)八木 誠一郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員経営戦略本部長 (氏名)多比良 幸一 (TEL) (0776)38-8402
 四半期報告書提出予定日 令和5年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 令和6年3月期第1四半期の連結業績(令和5年4月1日~令和5年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第1四半期	9,852	6.1	350	254.7	527	100.1	378	36.9
5年3月期第1四半期	9,290	7.3	99	△56.5	263	△15.8	276	27.0

(注) 包括利益 6年3月期第1四半期 955百万円(631.2%) 5年3月期第1四半期 131百万円(△54.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第1四半期	19.03	—
5年3月期第1四半期	13.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第1四半期	51,796	34,953	66.0
5年3月期	50,760	34,254	66.0

(参考) 自己資本 6年3月期第1四半期 34,191百万円 5年3月期 33,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	9.00	—	13.00	22.00
6年3月期	—	—	—	—	—
6年3月期(予想)	—	14.00	—	13.00	27.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 令和6年3月期(予想) 中間配当金の内訳 : 普通配当9円00銭、記念配当5円00銭(創立70周年記念配当)

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,870	2.7	710	39.7	830	9.4	560	△6.6	28.20
通期	40,730	2.9	1,680	8.1	1,920	1.0	1,490	0.5	75.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

6年3月期1Q	20,688,425株	5年3月期	20,688,425株
6年3月期1Q	832,097株	5年3月期	832,097株
6年3月期1Q	19,856,328株	5年3月期1Q	20,430,365株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスが感染法上の5類に移行する中で、徐々に持ち直しの動きがみられました。今後も、インバウンド需要や自動車生産の復調、雇用・所得環境改善等の内外需要の動きを反映して、緩やかな回復が続くことが期待されます。しかしながら、金利上昇による世界経済の減速や物価上昇を背景とした消費者マインドの悪化、人手不足による供給制約といった景気下振れリスクも多く、当面は注視が必要と思われます。

住宅業界におきましては、材料高による建築費の上昇や建築資材の供給不足等の影響もあり、令和5年4月～6月の新設住宅着工は、戸数208千戸（前年同期比4.7%減）、床面積16,492千㎡（同7.0%減）となりました。

このような環境のもと当社グループでは事業別に重点分野を定めて拡販活動を推進しています。

建築資材事業では、持家、戸建住宅の着工数が減少する中、前期に実施した価格改定の寄与に加えて行政による政策の後押しもあり、観光・宿泊施設向けの製品など非住宅分野が伸長した結果、内装建材・システム建材の売上が増加しました。

産業資材では、経済産業省・環境省の「先進窓リノベ事業」により窓枠関連分野の相手先ブランド製品が伸長したほか、マイクロバスや観光バス向けの部材も復調傾向となりました。また、精密化工分野では、今期に入り半導体不足問題は解消されてきましたが、中国市場の停滞等により、車載・非車載共に弱含みで推移しました。

海外市場においては、米国で自社ブランド品が引き続き好調を維持しているほか、タイとベトナムでの売上高も堅調に推移し、ASEAN建材ビジネスの基盤構築に向けた活動を展開しております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は98億52百万円と、前年同期に比べ6.1%の増収となりました。利益面につきましては、営業利益3億50百万円（前年同期比254.7%増）、経常利益5億27百万円（同100.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億78百万円（同36.9%増）となりました。

事業別の売上状況は、以下のとおりであります。

(金額単位：百万円)

	分類	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
建築資材	外装建材	1,348	14.5	1,277	13.0	△71	△5.3
	内装建材	2,899	31.2	3,260	33.1	361	12.5
	床関連材	1,910	20.6	1,899	19.3	△11	△0.6
	システム建材	881	9.5	1,020	10.4	139	15.7
	計	7,039	75.8	7,456	75.7	418	5.9
産業資材		2,251	24.2	2,396	24.3	144	6.4
合計		9,290	100.0	9,852	100.0	562	6.1

〔建築資材事業〕

建築資材事業では環境配慮型商品ブランド「Fukuvalue」の拡充に注力するとともに、新製品、既存製品問わず新市場に向けた販路の拡大に取り組みました。特に注力製品についてはデジタルマーケティング、ウェブセミナー、展示会を通じて、新たな顧客の開拓と関係強化に努めています。

製品別では、外装建材において環境配慮型商品の樹脂製瓦葺『エコランバー』などが堅調に推移しましたが、持家新設住宅着工戸数減の影響により住宅用防水部材、外装装飾部材が伸び悩み、12億77百万円（同5.3%減）となりました。

内装建材においては、内装下地材が低調に推移しましたが、観光庁の支援施策「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の継続が、観光・宿泊施設の改修を後押しすることとなり、浴室用パネル『バスパネル』が好調に推移しました。樹脂開口枠や高性能断熱材『フェノボード』も順調な伸びを示し、32億60百万円（同12.5%増）となりました。

床関連材においては、樹脂系床仕上材、乾式遮音二重床システム部材などは好調に推移した一方で、床支持具、OAフロアなどが伸び悩み、18億99百万円（同0.6%減）となりました。

システム建材においては、防蟻関連システムは低調となりましたが、環境配慮型商品ブランド「Fukuvalue」のラインナップのひとつでもある人工木材『プラスッド』が好調に推移し、10億20百万円（同15.7%増）となりました。

こうした結果、建築資材事業の売上高は、74億56百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

〔産業資材事業〕

産業資材事業の売上は、23億96百万円（同6.4%増）で、売上高全体の24.3%を占めました。

機器部材および精密化工品が伸び悩みましたが、窓枠部材および車両部材は好調に推移いたしました。また、昨年発売した『樹脂製フォークガード』が堅調で売上増加に貢献しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億37百万円(前期末比2.0%)増加し、517億96百万円となりました。主な増減要因としましては、流動資産では、電子記録債権が2億90百万円減少した一方で、現金及び預金が4億16百万円増加、棚卸資産が1億11百万円増加したこと等により、1億85百万円(同0.5%)の増加となりました。固定資産では、投資有価証券が7億73百万円増加、有形固定資産が38百万円増加する等、8億52百万円(同5.3%)の増加となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ3億38百万円(前期末比2.0%)増加し、168億43百万円となりました。主な増減要因としましては、流動負債では、支払手形及び買掛金が2億95百万円減少した一方で、賞与引当金が3億78百万円増加したこと等により、1億64百万円(同1.1%)の増加となりました。固定負債では、繰延税金負債が1億18百万円増加、またリース債務が60百万円増加する等、1億74百万円(同10.2%)の増加となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億99百万円(前期末比2.0%)増加し、349億53百万円となりました。退職給付に係る調整累計額が16百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が5億39百万円増加したことや、利益剰余金が1億20百万円増加したこと等によるものです。この結果、株主資本合計は317億76百万円、自己資本は341億91百万円となり、自己資本比率は66.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては依然として不透明な状況が続くものと予想されますが、現時点において令和5年5月15日公表の通期連結業績予想に変更はありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後の経営環境を踏まえ、業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,119	12,535
受取手形、売掛金及び契約資産	11,381	11,335
電子記録債権	4,024	3,734
商品及び製品	3,607	3,704
仕掛品	821	805
原材料及び貯蔵品	1,536	1,567
未収入金	1,162	1,159
その他	127	125
流動資産合計	34,777	34,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,891	3,904
機械装置及び運搬具（純額）	2,050	2,044
工具、器具及び備品（純額）	177	191
土地	1,903	1,904
リース資産（純額）	389	465
建設仮勘定	105	45
有形固定資産合計	8,514	8,552
無形固定資産		
その他	432	457
投資その他の資産		
投資有価証券	4,239	5,013
長期前払費用	197	199
退職給付に係る資産	2,309	2,320
繰延税金資産	40	39
その他	250	254
投資その他の資産合計	7,036	7,825
固定資産合計	15,982	16,834
資産合計	50,760	51,796

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,186	10,892
短期借入金	116	117
1年内返済予定の長期借入金	34	34
未払金	136	181
未払法人税等	372	213
未払費用	1,167	1,285
有償支給取引に係る負債	521	504
賞与引当金	609	987
その他	663	756
流動負債合計	14,804	14,969
固定負債		
長期借入金	33	33
リース債務	485	545
長期未払金	298	298
繰延税金負債	821	939
退職給付に係る負債	63	59
その他	1	1
固定負債合計	1,701	1,874
負債合計	16,505	16,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,194	2,194
資本剰余金	1,512	1,520
利益剰余金	28,409	28,529
自己株式	△467	△467
株主資本合計	31,648	31,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,297	1,836
為替換算調整勘定	236	256
退職給付に係る調整累計額	340	324
その他の包括利益累計額合計	1,873	2,415
非支配株主持分	733	762
純資産合計	34,254	34,953
負債純資産合計	50,760	51,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	9,290	9,852
売上原価	6,724	6,883
売上総利益	2,566	2,969
販売費及び一般管理費	2,467	2,620
営業利益	99	350
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	60	80
固定資産賃貸料	7	6
為替差益	91	86
その他	21	16
営業外収益合計	179	188
営業外費用		
支払利息	1	1
債権売却手数料	3	3
その他	10	7
営業外費用合計	14	11
経常利益	263	527
特別利益		
投資有価証券売却益	1	-
退職給付信託資産返還益	189	-
特別利益合計	189	-
特別損失		
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	452	526
法人税、住民税及び事業税	185	227
法人税等調整額	△21	△109
法人税等合計	164	118
四半期純利益	288	408
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	276	378

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益	288	408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106	539
為替換算調整勘定	89	25
退職給付に係る調整額	△140	△16
その他の包括利益合計	△157	547
四半期包括利益	131	955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102	920
非支配株主に係る四半期包括利益	29	35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。